

< 「西本智実プロジェクト in 八王子」の概要について >

実施時期

平成 23 年 4 月から平成 26 年 3 月までの 3 か年

主たる会場

八王子新市民会館（平成 23 年 4 月開館 所在地：八王子市子安町 4 丁目 7 番 1 号）

実施者

エグゼクティブプロデューサー

指揮者 西本智実

実施団体

財団法人八王子市学園都市文化ふれあい財団（理事長 三宅 壮三）

企画・制作受託者

株式会社オフィス TEN（代表取締役 戎 洋子）

事業概要

目的

「音楽のまち八王子」として市の新たなイメージをつくり、市民に、音楽そして新しいホールに親しんでもらい、市民の芸術文化の振興とまちの活性化を図ること。

内容

クラシック音楽をベースとして、オペラやバレエ、演劇などの要素を取り入れた舞台芸術を西本智実がプロデュースし、「学園都市」など八王子の特性を活かしたオリジナル作品を含め年間複数本制作。

指揮者 西本智実プロフィール

大阪音楽大学作曲学科作曲専攻卒業後、ロシア国立サンクトペテルブルク音楽院オペラ・シンフォニー指揮科に留学。

文化庁芸術インターンシップ奨学金生、「出光音楽賞」など受賞多数。

チャイコフスキー記念財団・ロシア交響楽団の芸術監督兼任首席指揮者（2004～2007）、ムソルグスキー＝ミハイロフスキー記念サンクトペテルブルク国立アカデミックオペラバレエ劇場（旧レニングラード国立歌劇場）の首席客演指揮者（2004～2006）などを歴任。その他にもモスクワ市立ロシアフィルなどへも客演するなどその地で外国人として異例のキャリアを積んでいった。

「スプリット音楽祭」「ドゥブロヴニク音楽祭」「ブラハ プロムズ音楽祭」などの音楽祭にも招聘されている。

オーストリアのリンツ、ブルックナーハウスにおいてブルックナー管弦楽団定期演奏会での成功はヨーロッパでの活躍の第一歩となり、モナコに於いてのモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団との公演でも絶賛される。ブダペストフィルのシーズン最初の定期公演や、ルーマニア国立ジョルジュエネスコフィル、リトアニア室内管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団の来日公演など、次々と成功し活動範囲を広げている。2010年にはラトヴィア国立響定期やアメリカ進出を予定しており、9月よりロシア国立交響楽団首席客演指揮者に就任することが決定。

オペラ指揮者としても評価が高く、ロシアの国立劇場でのポストの他、ハンガリー国立歌劇場、ブラハ国立歌劇場との共演でも成功をおさめている。国内においても主要オーケストラに度々客演している。

また、2007年よりダボス会議を主催する世界経済フォーラムのヤング・グローバルリーダーを務めており、その動向は世界から注目を集めている。